

第4節 勉強の効用

【一生懸命勉強することは、第一に一流の会社に入ったり(77%)、その後の出世に役立つ(73%)、つまり「職業的な成功、地位の達成」の手段として役立つと考えられている。また周縁的効用への信仰も根強い。】(図2-8)

Q12

一生懸命勉強することは、次のことにどれくらい役立つと思いますか。
①から⑧のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

ここでは、一生懸命勉強することの効用について尋ねた。「とても役立つ」と「まあ役立つ」を合計して、数値の大きな順に整理すると次のようになる。

- ①一流の会社に入るのに=77%
- ②会社や役所に入って高い地位につく(出世する)のに=73%
- ③精神的に豊かな生活をするのに=52%
- ④尊敬される人になるのに=49%
- ⑤お金持ちになって豊かな生活をするのに=46%
- ⑥社会のために役立つことをするのに=46%
- ⑦趣味やスポーツなど、楽しく生活するために=38%
- ⑧よいお父さん、お母さんになるのに=35%

回答率から8項目は3つに分類できる。第一に回答率が7割を超え多数の生徒が役立つと答えた「一流の会社」「出世」の2項目。ここから、一生懸命勉強することは、第一に一流の会社に入ったり、その後の出世に役立つ、つまり「職業的な成功、地位の達成」の手段として役立つと考えられていることがわかる。これは見方をかえれば、学歴主義的な

社会観を高校生が抱いていることをあらわしている。

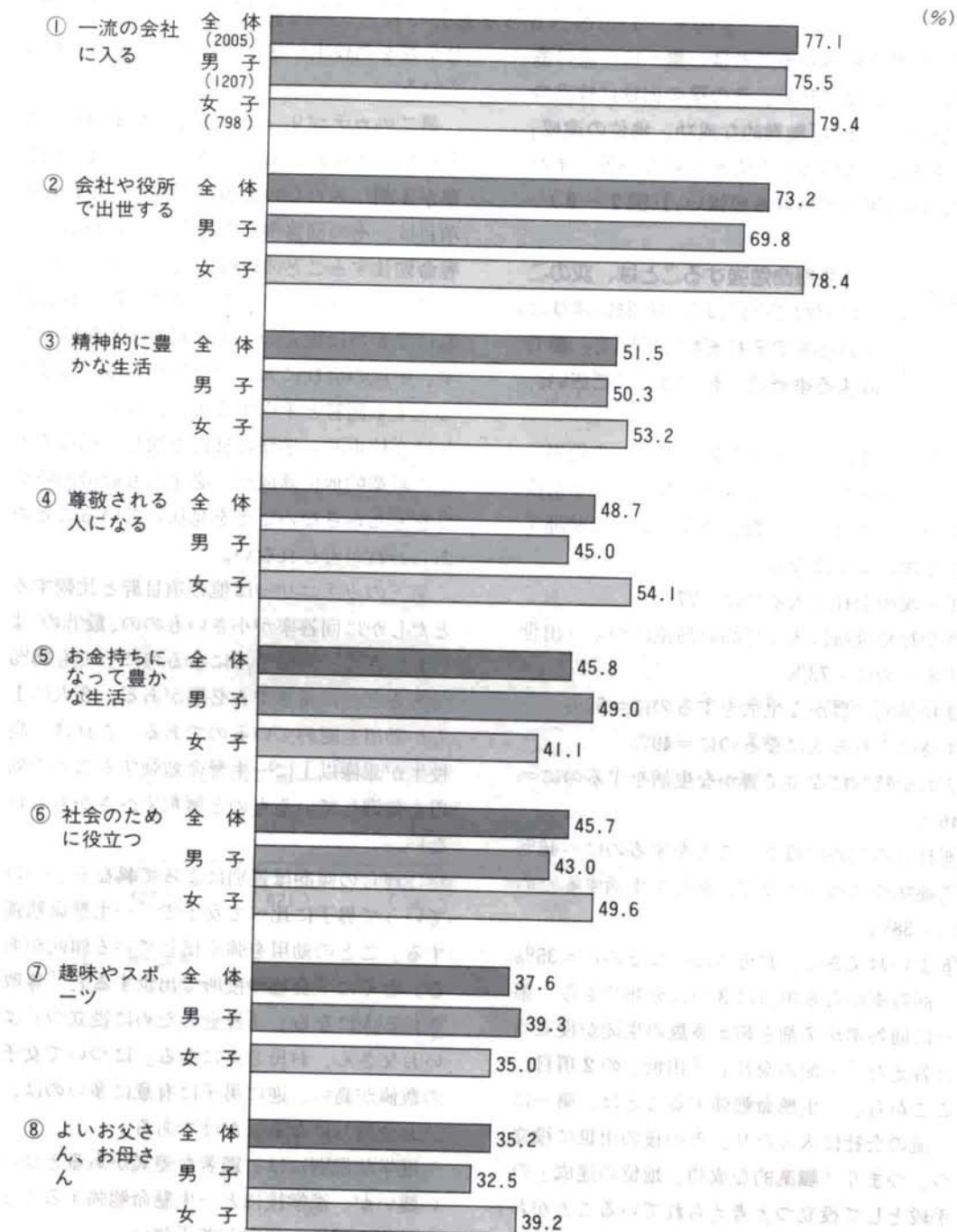
第二のカテゴリーは、回答率が4割から5割程度の4項目。第三のカテゴリーは、回答率が4割にみえない2項目である。これらの項目は、その回答率から考えて、いわば一生懸命勉強することの周縁的効用(フリンジ・ベネフィット)ととらえられている。お金持ちになるのに役立つとする回答は半数にみえず、一流の会社に入ったり出世するのに役立つとする回答と矛盾するようにみえるが、これは高校生が、学歴の獲得を通じた組織の中での職業的地位達成が、必ずしも経済的豊かさをもたらさないことを見抜いていることのあらわれかもしれない。

第三のカテゴリーは他の項目群と比較するとたしかに回答率が小さいものの、最低の「よいお父さん、お母さんになるのに」でも35%であることに留意する必要がある。3人に1人が効用を認めているのである。これは、高校生が想像以上に一生懸命勉強することの効用を信仰しているものと解釈すべきかもしれない。

これらの傾向は性別によって異なる。一口でいって男子に比べて女子で「一生懸命勉強することの効用を強く信じている傾向がある。とくに「会社や役所で出世する」「尊敬される人になる」「社会のために役立つ」「よいお父さん、お母さんになる」について女子の数値が高い。逆に男子に有意に多いのは、「お金持ちになる」だけである。

進学状況別には、顕著な差異があるとはいえないが、進学校ほど一生懸命勉強することの効用を認める傾向が若干強い。

図 2 - 8 勉強の効用



注 1) 数値は「とても役立つ」と「まあ役立つ」の合計。

注 2) ()内はサンプル数。